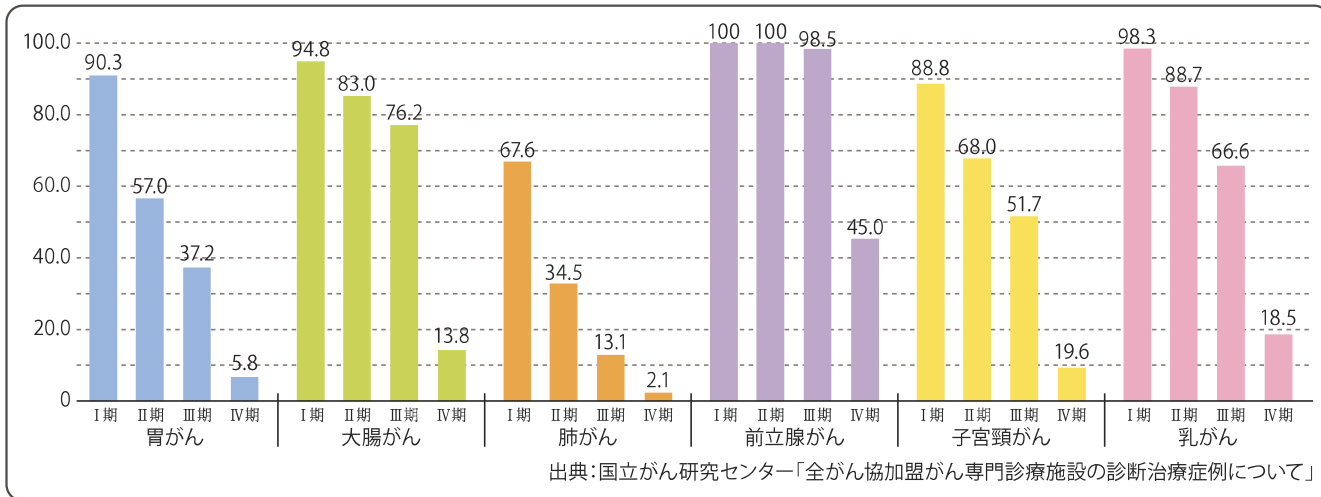


がん検診は「不要不急」ではありません！

がん検診のメリット

- 早期発見、早期治療によって、がんで亡くなる方を減らすことができます。
- 早期であれば治せる可能性は非常に高く、治療も軽くすむことが多いです。
- 市の検診で、年間1,300人以上の方のがんが発見されています。

臨床病期別10年生存率

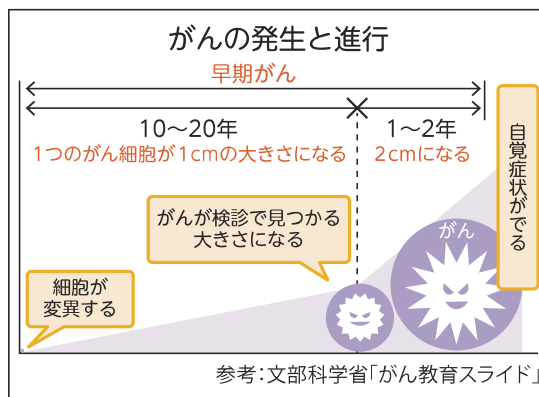


なぜ定期的に受けなくてはいけないの？

1つの細胞が1センチのがんになるまで、たとえば、乳がんでは、10～20年といった時間がかかると言われていますが、その間に検査しても、がんを発見することは困難です。

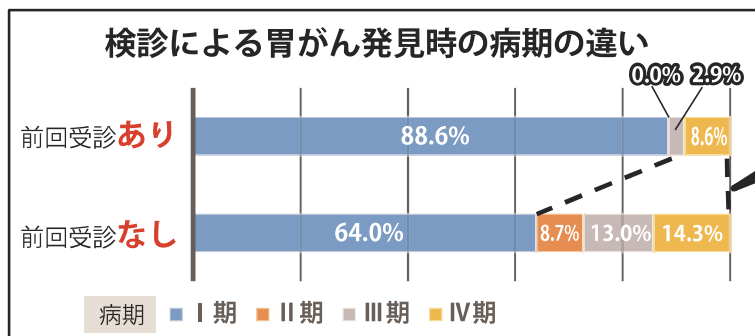
しかし、1センチのがんが2センチになるのにかかる時間は、わずか1～2年であり、早期がん（2センチまでのがん）のうちに発見するには、そのわずかな間に検査を受ける必要があります。

検診を定期的に受けないと、がんを早期に発見することができません。



<定期的な受診が早期発見につながります>

～平成30、令和元年度名古屋市胃がん検診(内視鏡検査)の実績より～



定期的に受診すると、病期が進行して発見される割合は約3分の1になる

※ 「前回受診あり」とは、前2年度内に本市検診を受診した方（ただし、要精検と判定された方を除く）
「前回受診なし」とは、前2年度内に本市検診を受診しなかった方

検診会場では新型コロナウイルス対策を徹底しています